（3面から続く）

すが、読谷村から贈り物を米軍司令官に贈呈したところ、何事もない雰囲気で安心して業務を遂行できているとのことでした。

このように、知恵を絞り米軍と友好を図れば、キャンプ座間の遊休地も無償で活用できるものと私は痛切に感じておりますが、市長の所見を伺います。

市長　キャンプ座間の返還候補地に対しての取り組みについて、普天間市など、沖縄の基地を抱えている公共団体と同じような思いが私どもにもありますので、こうした点をきちんと踏まえながら、負担軽減という部分に即した取り組みを進めていきたいと思っています。

市内小中学校の校庭芝生化を

沖本　浩二　議員《市政クラブ》

校庭を芝生化する目的は、生きた教材として環境教育に活用することや、地球温暖化対策、心豊かな場所づくりなどさまざまです。所管する常任委員会では、芝生化の手法である「長野方式」、「鳥取方式」を研究するために現地へ視察に出向いており、まさに市議会をあげて芝生化導入を当局に訴えています。

本市では、芝生化の研究を青少年センターの中庭で試験的に行っています。私も4月の下旬に現場を見させていただき、経過や状況について説明していただきました。その際、土壌環境など、整備の難しさということも実感しましたが、芝生化された校庭を望む市民の声が多数あることも事実です。青少年センター中庭の現状と当局の考察を伺い、改めて校庭芝生化の可能性について伺います。

教育部長　昨年の5月、青少年センターの中庭に職員で「ティフトン芝」の植栽を行いました。植栽後2カ月程度、水やりを朝晩2回行うとともに、雑草が茂るたびにその除去作業を行うなどといった作業を繰り返し、数多く行いました。現状から判断すると、土壌改良から行わなければ芝生の生育も十分とは言えず、管理についても課題は多いものと思われます。

校庭はスポーツ施設としての利用が多く、現状では芝生化することについて難しい点が数多くありますが、ここ数年で、他市でも多く見られるようになりましたので、参考にさせていただきたいと思います。

介護保険制度の抜本的な改善を！

佐藤　弥斗　議員《政和会》

介護保険制度が実施され、早くも10年が経過しました。当初は施設建設について実質単価より低いものの、さまざまな面で補助が出ていました。その後、国は施設を個室化し、居住費を徴収するとして一旦補助を打ち切り、その後、復活させると言われていましたが、平成22年度予算には計上されていません。この点について国の動きはどうなっているのか伺います。また、本市として第5期の介護事業策定に当たり、どの程度の施設を見込み、さらに個室と多床室の併用率をどの程度、県に求めていくのか伺います。

介護職員の確保に欠かせないのは、報酬の改正にかかっており、昨年4月に介護報酬を3％アップする改定がなされましたが、基本単価のアップではなく、そのほとんどが加算方式でした。その結果、直接的に介護報酬の引き上げになかなか結びついていません。基本単価の改善を国へ積極的に求めるよう、市から県に対して要望すべきと考えますが、所見を伺います。

保健福祉部長　老人福祉施設につきましては従来型多床室の新設について許可するか否かは各都道府県が地域の実情を踏まえて判断するとしており、県はユニット型を基本としつつ、多床室との合築も進めるとしています。多床室との建築割合、建設費補助については、まだ確定していません。

介護報酬の基本単価アップについては、利用料金の増につながるため、介護職員の処遇改善交付金を平成24年以降も続けていただくよう国に要望しているところです。

歩きやすく安全が確保された市道5号線を

伊藤　正　議員《政和会》

相武台前駅南口を走る市道5号線は、相武台コミセンまで歩道の拡幅が順調に進み整備されてきていますが、相武台前1号踏切先から南口駅前に続く市道15号線までの狭隘な道路を地権者の理解と協力をいただいて整備することができれば、車両や自転車など通行する人の安全が確保されます。さらに、歩行者の安全対策として歩道が設置されれば人の流れも変わり、地域の活性化にもなると思いますが、所見を伺います。

また、スーパーマルエツ付近までは歩道のバリアフリー化が計画され、安全・安心な歩道になりますが、その先には歩道がなく、極めて狭い路側帯があり、お年寄りには歩きにくく危険な状態になっています。同じ道路上で、整備が終わった場所とそうでない場所があることは不便です。今後の整備方針を伺います。

さらに、市道5号線バリアフリー化については、平成22年度が完成予定になっていますが、現在の進捗状況と整備計画について伺います。

都市部長　市道5号線の狭隘な区間については、歩道設置に向け現在、用地買収交渉に努めているところです。当該区間はバス路線でもあり、車両の対面通行とあわせた歩行者通路の確保が必要であることから、今後も引き続き地権者の理解を求め、早期改善に向け努力をしていきます。

バリアフリー化については、今年度、市道32号線交差点から相武台前駅側に向け歩道整備工事を実施する予定としています。

救急診療体制の整備を

長谷川　光　議員《政和会》

緊急医療体制について伺います。第1に、市内に緊急患者を受け入れてくれる病院は何件ありますか。次に、2次救急（重症患者対象）の市内病院が限られているため、近隣市の病院と契約し、緊急医療体制を維持していると思いますが、その対応は十分に機能していますか。また、経費は年間いくらになるのかお示しください。

本市消防本部では、現在3台の救急車を最大限活用して、市民の生命を守るために昼夜を問わず緊急要請に対応しています。市内に2次救急の総合病院が誘致できれば、緊急診療体制が整備できると思いますが、現状の認識と所見を伺います。

保険福祉部長　市内で救急患者を受けられる病院数は2病院です。小児科2次救急は座間市、綾瀬市、海老名市の3市共同事業であり、相模台病院、海老名総合病院の協力で体制を維持しています。小児科委託料については595万6500円で、内科、外科の2次救急については、本市と綾瀬市による2市共同事業ですが、厚木市、大和市、海老名市の病院の協力により体制を維持することができています。委託料については7264万9500円です。

総合病院等の誘致ですが、本市の属する県央2次保健医療圏は病床過剰地域で、病院の誘致等が困難な状況です。そのため当面は広域での救急医療体制を維持するとともに、病床過剰地域の見直しについても現在、国、県に対して要望をしているところです。

市民力を活かした元気なまちづくりを！

小野　たづ子　議員《公明党》

毎年、こどもの日が近づくと、かにが沢公園でこいのぼりが掲揚されています。

社会状況の変化とともに自宅でこいのぼりを上げることが少なくなったため、こども達の成長を祝い、こいのぼりを泳がせて見せてあげたいと地域の有志で平成11年5月から掲揚が始まりました。平成18年に「かにが沢鯉のぼり実行委員会」が創設され、委員会のメンバー、地元の小中学生や商店街の人などが一緒に作業を行い、コイを泳がせています。今年も4月28日から5月8日が予定されていましたが、5月2日の強風で、こいのぼりが絡まるのを防ぐために背骨の役目を果たす竹が、こいのぼりのワイヤーから外れ、「一本の竹が公園に落ちている」と市役所に連絡がありました。当日駆けつけた地域のメンバーと市職員との間で意思の疎通の行き違いがあったようで、こどもの日を待たずにこいのぼりの撤収が行われました。これは一方は管

（5面へ続く）

請願・陳情の結果

6月定例会各常任委員会で審査しました請願・陳情は、次のとおり決まりました。

◎採　択

請願第4号　「義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める意見書」の提出を求める請願

陳情第26号　栄養教諭の配置促進について県に意見書提出を求める陳情

陳情第28号　永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の決議を求める陳情

陳情第29号　憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認することを求める陳情

陳情第31号　永住外国人への地方参政権付与の法制化反対についての陳情

陳情第34号　神奈川県最低賃金改定等についての陳情

◎不採択

陳情第32号　選択的夫婦別姓制度の法制化反対についての陳情

◎継続審査

陳情第20号　座間市議会議場に国旗掲揚を求める陳情

陳情第33号　人権侵害救済法成立反対についての陳情

※陳情第29号、陳情第31号は、陳情第28号が採択となったため「みなし採択」となりました。

請願・陳情の提出について

第3回（9月）定例会で、審査をするための請願・陳情は8月25日（水）までに議会事務局に提出してください。